

## 第 20 回米子市水道事業審議会 会議録

- 開催日時 平成 28 年 2 月 23 日(火)  
午後 1 時 25 分～午後 2 時 57 分
- 開催場所 米子市水道局大会議室
- 出席者  
委員 (敬称略): 住田篤美・和田季子・中嶋紀恵・田中俊行・祝部大輔・吉居 努・中山寿子・稲田祐二・新田ひとみ・王島幸子  
欠席者: 小椋あけみ・八尾俊一・井藤津加代
- 米子市水道局: 中原水道事業管理者・八幡副局長兼計画課長・星野次長兼浄水課長・松田次長兼給水維持課長・金田総務課長・松田営業課長・森井水質管理課長・松前施設課長・安村境港営業所長・住田主査兼施設課改良係長・本池主査兼浄水課水源管理係長・湯崎総務課長補佐兼会計係長・山内総務課主任・事務局
- 日程
- 1 議題  
(1) 平成 28 年度の当初予算 (案) について
  - 2 事務連絡
- 公開又は非公開の別  
公開
- 傍聴者数 (報道関係者を除く)  
なし
- 会議資料の有無  
有り
- お問合せ先  
米子市水道局計画課企画調査係 (TEL. 0859-32-6112)

## 1 議題（議題の概要及び質疑）

### （1）平成 28 年度の当初予算（案）について

＜案件説明：湯崎総務課長補佐兼会計係長＞

#### 編成方針について

平成 19 年度に策定した 10 年間の水道事業基本計画である「米子市水道ビジョン」に検証を加えながら、経営の効率化、中長期的な視点を考えながら平成 28 年度予算を編成した。

給水収益が減少する中、経常的経費を抑制する。投資的経費は新配水池設置事業の最終年度として重点を置き、西尾原水源地取水井更新事業を実施する。

災害対策として老朽管更新事業、水管橋更新事業を進めながら、庁舎建設事業の建築主体工事、機械設備工事、電気設備工事に着手する。

#### 収益的収支の決算について

水道料金収入とその他の収入、及び支出について説明。

9 億円の特別損失は平成 26 年度のみ発生する費用である。

#### 予算の概要について

企業会計においては、収益的収支と資本的収支の 2 本立てで財政予算を計上する事となっている。

資料「平成 28 年度の当初予算(案)について」

P1、平成 28 年度の予算規模について説明。

#### 事業計画について

P2、平成 28 年度の事業計画について説明。

#### 資本的収支の決算について

P3、収益的収支と資本的収支について説明。

#### 業務の状況について

P4～5、平成 26 年度決算値及び平成 27 年度決算見込みと、平成 28 年度当初予算を比較して説明。

### **質疑応答**

【住田会長】ご説明いただきましたが、お聞きになりたい事がありましたらご遠慮なくどうぞ。

【稲田副会長】4 ページの純利益を見て、これがどんどん減って行くと赤字になるのではないかと思います。どうですか。

【湯崎補佐】平成 26 年度は 46 年振りに企業会計の基準が大きく見直さ

れて、新基準への移行の年でありました。そのため移行処理に伴い数字上で3億5,000万円程度の赤字が出ました。

平成27年度もその影響が多少残っておりますが、今後企業会計制度見直しの影響が落ち着いてくれば、2億から3億程度が純利益となってくると思われます。

【稲田副会長】平成27年度が特異だったということで、28年度から落ち着いて来るという理解でよろしいですね。

【祝部委員】1ページの編成方針に災害に強い水道事業の構築を目指すとありますが、平成28年度事業計画のどこから読み取れるのか伺います。

【八幡副局長】2ページをご覧ください。配水管改良工事は全て耐震管を使っておりますので、災害に強い配管網が構築できます。老朽管更新事業と国道431号線水管橋更新事業も同様です。

配水池が完成しますと、山の上に貯留している水は災害発生時にも安定して供給ができます。

こういう部分で災害に強いという表現をしております。

【祝部委員】予算額が前年度と同じでもそう言えるのでしょうか。

【八幡副局長】更新は年度毎に予算を充てる終わりなき事業です。年間10kmから12km位更新できますので、どんどん耐震管に替わっていきます。沢山更新すれば、耐震化率はあがる反面事業を圧迫しますので、適正な事業費で進めたいと思っております。

【祝部委員】耐震化率をあげないと、1月にあったような寒波は大丈夫でしょうか。

【八幡副局長】この度の凍結災害の場合、水道局の設備に一切被害はありません。全て各ご家庭の小さな管が一斉に壊れた事によって、配水量が増大した結果です。もしお客様方が凍結に備えて対策をしていただくとこういう事故は少なくなってきます。

水道局の費用を充当して防寒対策ができませんので、個人の判断におまかせしております。今後は冬場の十分な対策をしていただく様をお願いしようと思っております。

【祝部委員】この度の凍結災害では、水道局が管理する設備に被害はなかったという事ですが、かかった費用はほとんどなかったという事でしょうか。

【湯崎補佐】凍結災害に関する費用は、平成27年度の補正予算として3月の市議会に提出しております。数字で1,500万円を災害による損失という事で補正予算に計上したところであります。

主なものでは職員の人件費や工事店の待機料を、3月市議会に盛込んだところです。

【稲田副会長】新庁舎建設について、旧耐震基準の建物を更新されるという事は防災拠点となるので、それについても述べられた方が良いでしょう。

【八幡副局長】ありがとうございます。議会においては、防災拠点になるという事は何度も説明しております。

【新田委員】4ページの説明で、平成26年度の純利益がマイナス、5ページの利益剰余金の推移ではプラスですね。これは前年繰越しがそれだけあったという事になり、それも合わせると平成26年度は黒字であったと捉えて良いでしょう。

【湯崎補佐】平成25年度末と平成26年度を合わせたものが、この数字になります。

【新田委員】すると前年繰越しを加える事によって、水道局は頑張っている最終的には黒字にしていると判断してよろしいでしょうか。

来年度で終了する配水池設置事業とか、今後の新庁舎建設事業も、予算的には利益剰余金の推移のところでは、黒字決算にできる様な事業の組み方をしようと考えていると考えますがそれでよろしいでしょうか。

もう1点、企業債残高の推移が資料にあります。事業運営のためには、お金が必要なため企業債が必要になると思いますが、今後もずっとやっていかれるのは、減価償却等も含める中で教えていただくという事でよろしいのでしょうか。

【湯崎補佐】利益剰余金また企業債についてご質問がありました。大きな事業をする場合は、資本がありませんので借入れをして事業を行っていきます。10年間の水道事業基本計画の大きな柱が、配水池設置事業と庁舎建設事業です。現在次の10年事業計画を立てる段階に入っております。料金収入が減少する中で、企業債をどの程度借入れて、地震・災害に強い水道事業運営をしていくかを、10年計画ともう一つ中長期の計画であるアセットマネジメントでバランス良く考えていきます。

企業会計の場合発生主義と申しまして、水道料金で例えると、3月分もその年度の収入として計上しますが、その内まだ入って来ていないのが「未収金」。「未払金」は工事が終了しましても、まだ支払っていないものがそれにあたります。

【吉居委員】災害に関係した話で、この度の寒波では我が家も凍結しました。しかし水を抜く装置があれば水を抜く事により凍結し

ないと聞きました。お客様の希望があれば、お客様の費用負担で付けるという考えもあると思います。

【松田次長】米子市水道局では給水管の工事の際に、水抜きを設置を求めています。凍結を防ぐために、まず対策として屋外の露出管を防護してください。防護の仕方については水道局にお問い合わせいただいても良いですし、工事店もノウハウを持っております。日頃からきちんと防護しておいていただく事が重要だと考えております。

【住田会長】防護の具体的なやり方を、費用がかかる事でなくて良いので、少なくとも市報なりに具体的に出示されたらどうでしょう。

【八幡副局長】載せているんです。実は。

【松田次長】4コマ漫画で載せてはいるんですが…。

【住田会長】今回の事で皆堪えたと思うんで、そこら辺を分かり易くお知らせくださると良いと思います。

【八幡副局長】お目に留まらなかったという事は、広報不足だという事ですので反省しております。

【住田会長】今回の凍結騒ぎで、皆がいかに水道水が大事かという事が身に染みたとします。水が無かったらどんな事になるか、初めて経験しました。防護の広報についても、上手く徹底なされれば、皆さんが水道局に向かって手を合わせる様になりますから、宜しくお願いします。

【新田委員】水道ポストを見させていただいて、「家庭用の水道管って、冬場でも気にかけて貰えずに可哀そう…」の見出しが凄く目に入ったんです。防災無線についてですが、凍結が終わった後には色々流れて来たんです。今晚危ないとか今後こうなるぞという時には、住田会長が言われた様にペーパーは見ても貰えなくても、防災無線だと聞こうとするので、ご検討いただきたいと思います。

【八幡副局長】防災無線は前段で市役所が流しているんですが…。

【住田会長】具体的に、凍結の恐れがあるので処置をお願いしますといった内容は流されたんですか。

【八幡副局長】長くなると聞き取りにくいという事で、内容についての問合せがあつたりしますので、なるべくコンパクトにする様に努めております。

【中原管理者】防災無線は市の防災安全課が土曜日の夕方に流したと言っていました。気温が下がる注意喚起の内容だったそうです。先程副局長が話しました様に、あまり長いと何を言って

いるのか分からないという声があります。

水道局は市報の1月号にパッキン☆マンを使った4コマ漫画で、水道管の凍結対策について掲載しております。しかしそれで足りなければ、どうすれば良いのかという部分を検討しなければと考えております。

【八幡副局長】11月頃になりますと、検針のお知らせ票にも、水道管の冬支度をお願いする旨の印字をしています。しかし用紙のサイズに制限がありますので、文字数に限りがあります。

【新田委員】予算書12ページで職員数110人の内、昇給に係る職員数が今年度は97人となっていますが、残りの13人の方達は昇給に関わるのか関わらないのか、どうなっているのでしょうか。

【金田課長】現行の給与制度は昇給の年齢に上限がありまして、これ以上は昇給なしという年代があります。

【新田委員】昇給は何歳で止まるんですか。

【金田課長】55歳です。

【新田委員】(4)の表では職員数が110人となっていますが、(3)の表では109となっています。この1人の差はどこにありますか。

【金田課長】我々は現在上水道事業と工業用水道事業の、2事業を抱えております。工業用水道事業に携わっております職員が一名おりますので、そちらの企業会計から給与を支給しているため、資料には載せておりません。

【新田委員】局長さんは別で、その上での数字ですよね。分かりました。

【中山委員】この前の凍結災害で水道料金の減額についてお話された様に思うんですけど、どこで減額になるのでしょうか。

【八幡副局長】今回の凍結災害では、漏れたお宅は全て減額の対象にしております。算式に基づいて漏れたと推定される量を算出し、その2/3を減額する事にしてしております。件数としては約2,000件です。金額にしますと約1,600万円を見込んでおります。

【中山委員】補正予算の中には、これは入っていないのですか。1,600万円の収入減になると考えて良い訳ですか。

【金田課長】通常お使いになる水量に加わる漏水量の2/3を減額するという事ですので、基本的な水道料金には影響がありません。

【八幡副局長】通常の使っておられる料金は請求をします。

【吉居委員】水道メーターを通った水の漏れだから、払わなければいけない。それを武士の情けで減額しますという事ですよ。個人で負担しなければならないのを減額するという、米子市水道局の情の精神が市民に分かるのかどうか。

【八幡副局長】 今回の凍結災害は氷点下 5.8℃という記録的な低温によるものであり、管理をきちんとしても防げなかった破損だろうと判断しました。

【松田次長】 水道局には約 1,200 件の修繕依頼がありました。それ以外に、約 170 社ある水道局の指定工事店にも、多数修繕依頼がありました。

我々も依頼を受けた修繕は、即対応したいのですが、いかにせん非常参集した職人の数が足りません。そのためすぐ伺えなかったお宅は、水が出っ放しになったまま放置せざるを得なかったため、等しく減額させていただきます。

【王島委員】 減額される 2,000 件は、修繕依頼があった件数ですか。

【八幡副局長】 修繕依頼があった件数はカウントできております。また検針に伺った際に、使用水量が増えていた場合は、聞き取りをして凍結による被害があったかどうかを確認します。

従って、検針が全て終わらないと、全部の件数の把握はできません。

【稲田副会長】 米子高専でも漏水があったが、減額をしていただけるので担当が大変喜んでおりました。

防災について「災害は忘れた頃にやってくる」と言います。地震などと違い寒波や台風などは、ある程度の予想ができて広報をしても、防ぐのはなかなか難しいですが、粘り強くやっていたいただきたいと思います。

【田中委員】 色々と広報をされていると思いますが、NHK も含めた地方のテレビ局は午後 6 時台から 7 時台に、ニュース枠を持っていますので、利用されると広く伝わるのではと思いますが。

【松田次長】 実はテレビでの広報も毎年しております。地元ケーブルテレビ局の中海テレビ放送さんが、率先して取材依頼をくださって、出演して具体的なお願いを再三しております。

ただ中海テレビ放送さんの取材が、例年 1 月の後半位ですので、もう少し早めにして欲しいと注文をつけております。

中海テレビさんのシェアという限界もあり、全ての方に見てもらえないですけれども、テレビの力は強いと思っておりますので、和田委員にもお願いしたいと思っております。

【田中委員】 これから気温が下がるという日の、午後 6 時台から 7 時台に広報していただくと有難いんですが。

【八幡副局長】 ご要望としてお聞きしておきます。

1 月 19 日から 2 月にかけて約 1 ヶ月間、日本海テレビの夕

方の時間帯の火曜日と金曜日に 15 秒ずつ、CM を流しております。

【田中委員】NHK さんに、凍結が起きると思われる当日に、注意喚起の呼びかけを入れてもらうのは出来ないのでしょうか。

【八幡副局長】はい、聞いてみます。

【吉居委員】米子水道局だけでなく、鳥取全県下の水道の事は、平井知事が音頭を取られるんですか。

【八幡副局長】音頭は取られても、お金は出されないと思います。

【吉居委員】1,200 から 1,300 件あったという苦情電話の色々な内容の中には、脅迫めいた電話もあったんじゃないかと思うんです。ですから電話の分析をされたら良いと思います。また何時起きるか分かりません。電話対応というのは大変ですから。

【住田会長】予算書の 3 ページで、一時借入金が 31 億 4,570 万円でしょう。企業債の限度額と同額になっているようですが、これはどういうことでしょうか。

【湯崎補佐】企業債の借入日というのは、3 月の 20 日頃と決まっております。それまでに工事等が終了し、支払いが発生した場合、資金の手当てをするために、市中銀行などに借入をして支払う事になります。その場合は必ず予算の議案に、限度額を必ず載せておく事になっております。

まず無いと思いますが、同額を載せておかないと全く借入ができませんので。

【住田会長】いや勿論勿論。いやね、一時借入金という一般的な捉え方からすると、年度毎の収支の基本として、10 億円とか 15 億円だとかを一つの限度として置いとこうとか考えるんですな。31 億 4,570 万円という数字で、ちょっと疑問に思っています。

【湯崎補佐】分かりました。継続的にこの様な形を取ってございましたけれど、今のお話を聞きましてちょっと検討してみます。

【住田会長】そうですね。少し検討してみてください。企債の捉え方というのはそういう考え方が大半だと思いますので。

【吉居委員】11 ページに退職手当についてですが、これは江戸時代の役人から続く侍の精神です。給料では飯が食べられないから、色々な手当てが付いている訳です。

21 世紀の水道事業、世界を又にかけて展開する時にどんな給料体系があるのか。144,600 円で安いアパート代に住宅手当が半分出たとして、果たしてこの給料でやっていけるのかどうか。生活がかかっていますから。

誰に憧れて水道局の職員になるのか。今は採用試験をしても、人数が集まらない、特に給料の理由が大きいです。水道事業が赤字に転落した場合に、企業ですから局の職員はどうなるのか。

だから私は水道事業というのは、本業の水事業だけでなく、副業をする事で本業が不要になる様なスタイルをしなければいけないんじゃないかなという気がしています。このままの状態が続けばですよ。

【中原管理者】高卒初任給については、国縣市共に多分同じ様な初任給だと思っております。もう少し上げて良いのではという、ご意見だと思えます。我々は公営企業というカテゴリーの中にあっても、公務員ですので様々な給与決定の原則がございます。水道局だけ初任給を上げるというのは、大変難しいのが実情です。

【吉居委員】県職はカットされずに全部給料は出てますか。

【中原管理者】現在米子市も水道局も、一律カットは行っておりません。

【吉居委員】皆さん良く知っておられると思いますが、生活保護というのは最低限の生活の権利を保障するものです。20代になれば20万、30代30万、40代40万、50代になれば50万、これが大体普通です。

【新田委員】給与問題に関しては、民間と比べてどうかという事も現実としてあると思えます。吉居さんの仰る思いは良く分かりますので、ここは受け止めていただくとして、これ以上の議論は難しいかなという感じがします。

【吉居委員】会長さん、宜しくお願いします。

【住田会長】私は市長ではありませんので。ただ公務員の皆さんの給料というのは、民間企業の給与の平均などをベースに、設定なさっている訳です。初任給についても、大企業になりますと、大卒だと22万円位とかが相場になってきております。ですが日本の民間の8割は中小の零細企業です。実際にそういった皆さん方の給料の実情と照らし合わせると、初任給が高卒で14万4,000円、大卒16万6,000円というのは、これは高いよという話になるんですな。

まあ、いずれにしても勝手にできる話ではございませんので、吉居さんが仰る事は皆さん喜ばれるけれども、これについてはこの辺りにいたしましょう。

【中山委員】予算書の3ページ第7条の、企業債の利率が年10%以内は

現在のマイナス金利時代では当たり前だと思いますが、利率についての何か方向性はないのでしょうか。具体的に10%以内のどの辺りなのかなというのが、見えて来ないものですから。

【湯崎補佐】実際のところ、借入をして現在利率2%程度です。

これまで一律の期間の借り方でしたが、30年が40年になったりだとか、ここ1年位で変わって来ております。今後は期間・利率・総額も含めて検討する時代になって来ております。

【中山委員】表現の方法が年10%以内という事ですね。

【住田会長】現実では今一番高い利率がなんぼ位でしたかな。

【湯崎補佐】5%程度だったと思います。

【住田会長】最近では2%切る様になって来てるでしょ。

【湯崎補佐】そうです。

【住田会長】すると10%と書いてあると高いなあと、恐らく中山さんはそう思われたんじゃないかな。

現実には2%を切る様な理屈で企業債を借りておられるのが現状です。企業債の場合は10年とか20年とか期間が長いので、まあ2%以内程度で収まっておれば良いのではないかという感じがします。

他にはございませんか。

そうしますと、平成28年度米子市水道事業会計予算については、ご提案とご説明をいただいた事で、当審議会としては承認するという事で宜しいでしょうか。

(「はい。」の声)

【住田会長】はい。ではそういう事で宜しくお願いします。

## 2 その他

【新田委員】写真の資料をいただきましたが、新しい配水池は、何処の辺に造られるのでしょうか。工事が大分進んでいる様ですが。

【八幡副局長】ご案内します。

【新田委員】庁舎は何処に建つのでしょうか。

【八幡副局長】この水源地の南側です。

【新田委員】車尾の水源地は無くなるという事ですか。資料の文章には、車尾水源地の老朽化した送配水ポンプや関係施設を更新しないと書かれていますので、閉鎖という事ですか。水はこれからも取るのでしょうか。

【八幡副局長】井戸は残ります。

配水池は5月の連休が終わった頃に、大きい方の中央配水池の見学会を予定しておりますので、時期が来ましたら皆様にご案内を差し上げます。

【住田会長】他にございませんか。それでは以上を持ちまして第20回の審議会を閉会といたします。

#### 新任委員挨拶

新田委員・稲田委員・中山委員・王島委員

【住田会長】新しい委員の皆さん、どうぞ遠慮なさらずに、ざっくばらんに意見を出し合って、良い会にして行きたいと思っておりますのでご協力を宜しくお願いします。

どうもありがとうございました。